

オンライン診療・服薬指導進む

東邦ホールディングス（HD）は2月からオンライン診療・服薬指導システム「KAITOS（カイトス）」の提供を始めた。新型コロナウイルス感染症が収束しない中、受診を控える患者は多く、オンライン診療で適切な診察を受けられるようになる。

カイトスは東邦HDが運用する医療機関検索サイト「病院なび」と連携している。病院なびからオンライン診療を実施している病院を検索して予約。オンラインで診察から決済まで行える。服薬指導が可能な近隣薬局を選択すれば、オンライン上で服薬指導を受けて、決済、配送による薬の受け取りも可能だ。

入口となる病院などは22万件の病院、クリニック、歯科、薬局の人（2020年11月現在）が利用する。豊富に情報掲載。医療機関名や診療科目のほか

医療機関情報と連動 システム利用者拡大



医療機関検索サイト「病院なび」。カイトスと連携している

京、札幌、西日本にコールセンターを設置。丁寧な対応でオンライン診療へのハードルを下げる役割を果たしている。

現在、新型コロナウイルスの感染リスク低減のため、時限的な規制緩和でオンライン診療システムが複数社から提供されている。有働敦東邦HD社長

に、病気の症状やクリニックの専門性、女医による診察が可能ななどの検索もできる。カイトスにはオンラインによる栄養相談も導入する予定。管理栄養士による対面での栄養指導と同様、オンラインによって、多くの患者の要望に合った医療機関患者に食事などのアドバイスができるようになる。また、カイトスの使用を見据えて、カイトスを「将来、オンラインでの診療が医療行為の柱の一つになった環境を発売した」と説明。